

～子どもの学びと育ちを支え、質の高い幼児教育・保育を目指して～



つむぐ

No. 33

令和4年 7月 4日発行 袋井市幼児教育センター

地域の方との触れ合いで様々なかかわり方に気付きます

子どもたちの身近な環境のひとつに、地域があります。地域の方々との交流を通して挨拶したり、声を掛けてもらったりすることで、安心感や自尊感情が高まります。

また、行事等に参加したり、様々な年齢の人と触れ合ったりすることで、いろいろなかかわり方に気づき、相手の気持ちを考えるようになります。

身近な人との触れ合いから社会とのつながりを意識し、自分が住んでいる地域に親しみをもち始めます。

袋井の幼児教育で育成する力

生活習慣	(1)自立心
	(2)道徳性・規範意識の芽生え
	(3)健康な心と体
	(4)社会生活との関わり
学びに向かう力	(5)自然との関わり・生命の尊重
	(6)言葉による伝え合い
	(7)協同性
基礎となる力	(8)思考力の芽生え
	(9)数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚
	(10)豊かな感性と表現



触れ合いを通して地域の特色を知ります



地域の方と触れ合いながら交流を深めます

☆小学校生活では、

地域の行事や様々な文化に触れることを楽しんで興味や関心を深めたりすることは、地域への親しみや地域の中での学びの場を広げていきます。また、相手の状況や気持ちを考えながらいろいろな人とかわることを楽しむようになります。

本市では、「袋井市就学前教育・幼小接続カリキュラム」に基づき、10の力を育成する教育を行っています。幼児教育センターだより『つむぐ』では、市内の幼稚園や保育所(園)こども園での実践の様子などを紹介しています。袋井市教育委員会幼児教育センター86-5511 幼児教育センターHP <https://fukuroi-education.edumap.jp>

